

ヨーク大学日本語科三学年読解教材  
AS/JP3000 6.0 Reading Comprehension  
Japanese Studies Program, York University  
第五課「遅れた出奔」  
**Lesson 5: Belated runaway from home**

---

大学四年のとき、失恋した直後、内定していた会社に「事情により内定を取り消させていただきます。」というような手紙を送り、大学の事情に詳しい友人に休学手続きを頼んで、車で、だいぶ遅れた家出を決行。落ち着いたら、連絡するという置き手紙を残して、出奔。親にはだいぶ心配をかけたが、自分は真面目であった。誰も知っている人のいないところで一年間自活するというのが、目的であった。無党派の政治活動を含め、ちゃらんぽらんではあったが、一時は八つのクラブ活動をしていた時期があり、家永三郎教授が国を訴えた教科書検定訴訟を支援する大学代表委員をしたり、「ICU 平和を守る会」などを組織したり、在日朝鮮人及び韓国人に対する差別問題に取り組んだりしていた。日韓条約締結反対のデモで、東京駅の構内に入り新幹線のホームを占拠した時、動労の組合員に、いっしょにやろうと声をかけたら、「あんたらには生活がかかっていないじゃないか。」との答えが返ってきたのが、痛切に身にしみたのだった。卒業を控えて、自分で何が出来るのか、独りで食って行けるのかと自分に問い掛けてみて、その経験のないことが一番こたえた。もちろん失恋の痛みも大きかったし、結婚を予想しての、予定してなかった就職であったので、大いに嫌気がさしていたのも事実である。にっちもさっちも行かなくなつての夜逃げと言った方が当たっていたかもしれないが、意を決してからは非常に気

持ちが楽になった。大学では、毎年ストの続いた時代であった。それにも嫌気がさしていた。

夜中の二時ごろそっと家を抜け出し、ゆっくり東海道を大阪に向けて走った。別に急ぐ旅ではなかったので、大阪に着いたのは、夕方近かった。さて、西も東も分からない大阪でどうするか。初めに着いたところは、日本橋、恥ずかしい話だが、大阪に日本橋、にっぽんばしと読む、があることさえ知らなかった。何しろ、高校の修学旅行で一度来たことがあるだけだったのである。ちょうど、恵比寿祭り、えべすさんと呼んでいた、の時に、界限はにぎわっていたように思う。まず、腹ごしらえをして泊まる場所を探さなくてはと、近く中華料理屋に飛び込む。そこのマスターに、大阪は初めてなので、どこか安くてきれいな泊まる所はないか尋ねると、「ちょっと待ってな。一緒に行って上げるから。」と非常に親切な人で、えべすさんのすぐ側のビジネスホテルへ案内してくれた。今でこそ東京にもビジネスホテルなるものがたくさんあるが、そのころはまったくなかった時代である。まさに安くてきれいなホテルであった。人が親切なことと、合理的な生活スタイルにまずよい印象を受けた。その晩はぐっすり眠って、次の朝食で朝食を取りながら、おもむろに新聞の求人覧に目を通した。大阪に来た理由の一つは、日本第二の大都会であれば、トラックの運転手の仕事ぐらいはかなりあると思ったからである。はっと目にとまったのが、「日の出運送」という名前であった。実は、夏休みに、東京の八丁堀で働いていたのも「日の出運送」だったので、これも何かの縁と早速電話をかける

ことにした。「日の出運送」という名は日本全国には掃いて捨てるほどあるの  
だが、何か運命のいたずらを感じた。

電話をかけて、社長に、ありのままを話し、学生で一年しか働けないが、と言  
うと、すぐ面接に来いとのこと、場所を聞いて早速出かけることにした。行っ  
てみると、そこは旭区にある京阪の森小路駅の近くの小さな運送会社で、運転  
手も十人ほどしかいないようであった。社長は苦勞人で、話を聞いて、すぐ雇  
ってくれ、明日から来るようにと言ってくれた。住むところはあるのかと聞か  
れたので、これから探すところだというと、社長の家に下宿してもいいと言っ  
てくれたが、それではあまり甘え過ぎていると思い辞退すると、汚くてよけれ  
ば、夜の電話番をする条件で、車庫の上の部屋に家賃無しで住んでいいとのこ  
と、早速好意に甘えた。こうして、大阪での一年間のトラックの運転手稼業が  
始まったのであるが、自分独りで何かをしたというより、結局多くの人に助け  
られて、自分の我儘を通させてもらったというのが本当のところである。

1997年5月30日  
トロントにて

太田徳夫

---

### [語彙]

遅れた  
出奔(する)  
失恋(する)

おくれた  
しゅっぱん(する)  
しつれん(する)

belated  
abscond, run away  
be brokenhearted

直後	ちよくご	right after
内定(する)	ないてい(する)	unofficial decision
取り消す	とりけす	cancel, retract
事情	じじょう	circumstance
詳しい	くわしい	knowledgeable
友人	ゆうじん	friend
休学(する)	きゅうがく(する)	temporary absence from school
手続き	てつづき	procedure
頼む	たのむ	ask
家出(する)	いえで(する)	run away from home
決行(する)	けっこう(する)	carry out
落ち着く	おちつく	settle down
連絡(する)	れんらく(する)	contact
置き手紙	おきてがみ	a note left behind
残す	のこす	leave behind
心配(する)	しんぱい(する)	worry
真面目(な)	まじめ(な)	serious
誰	だれ	who
自活(する)	じかつ(する)	support oneself
目的	もくてき	purpose
無党派	むとうは	non-partisan, non-sect
政治	せいじ	politics
活動(する)	かつどう(する)	activity
ちゃらんぼらん(な)		inconsistent, irresponsible
時期	じき	period
家永三郎	いえながさぶろう	Professor Saburoo Ienaga
訴える	うったえる	sue, accuse
教科書	きょうかしよ	textbook
検定	けんてい	official approval
訴訟	そしょう	lawsuit
支援(する)	しえん(する)	support
代表(する)	だいひょう(する)	representative
委員	いいん	committee member
平和	へいわ	peace
守る	まもる	protect, defend
組織(する)	そしき(する)	organize
在日	ざいにち	resident in Japan
朝鮮人	ちょうせんじん	(North) Koreans
及び	および	as well as
韓国人	かんこくじん	(South) Korean
対する	たいする	toward
差別(する)	さべつ(する)	discrimination

問題	もんだい	issue
取り組む	とりくむ	grapple with
日韓条約	にっかんじょうやく	Japan-Korea Security Treaty
締結(する)	ていけつ(する)	conclude (a treaty)
反対(する)	はんたい(する)	oppose
構内	こうない	premises
新幹線	しんかんせん	bullet train
占拠(する)	せんきょ(する)	occupy
動労	どうろう	National Railway Motive Power Union [国鉄動力車労働組合]
組合員	くみあいいん	union member
生活(する)	せいかつ(する)	life
痛切(な)	つうせつ	painful
身	み	body
身にしみる		be painfully aware
卒業(する)	そつぎょう(する)	graduate
控える	ひかえる	with ... near at hand
独り(で)	ひとり(で)	by/for oneself
問い掛ける	といかける	ask oneself
経験(する)	けいけん(する)	experience
一番	いちばん	most
痛手	いたで	severe blow
結婚(する)	けっこん(する)	marry
予想(する)	よそう(する)	anticipate
予定(する)	よてい(する)	plan
就職(する)	しゅうしょく(する)	be employed
嫌気(がさす)	いやげ(がさす)	be fed up
事実	じじつ	fact
夜逃げ(する)	よにげ(する)	run away by night
当たる	あたる	be suitable, appropriate
非常に)	ひじょう(に)	extremely
楽(な)	らく(な)	easy
時代	じだい	era, period
夜中	よなか	midnight
抜け出す	ぬけだす	sneak out
東海道	とうかいどう	the Tokaido highway
大阪	おおさか	Osaka
向ける	むける	heading
走る	はしる	run
別(に)	べつ(に)	(not) particularly
急ぐ	いそぐ	hurry

旅	たび	trip
日本橋	にっぽんばし	Nippon-bashi
恥ずかしい	はずかしい	embarrassing
修学旅行	しゅうがくりょこう	school excursion
恵比寿	えびす	Ebisu 'the god of wealth'
祭り	まつり	festival
呼ぶ	よぶ	call
界限	かいわい	vicinity, neighborhood
腹ごしらえ(をする)	はらごしらえ(をする)	take a meal, fill stomach
泊まる	とまる	stay
探す	さがす	look for
中華料理屋	ちゅうかりょうりや	Chinese restaurant
飛び込む	とびこむ	jump into
尋ねる	たずねる	inquire
一緒(に)	いっしょ(に)	together
親切(な)	しんせつ(な)	kind
側	そば	nearby
案内(する)	あんない(する)	guide
合理的(な)	ごうりてき(な)	rational
印象	いんしょう	impression
受ける	うける	receive
眠る	ねむる	sleep
求人欄	きゅうじんらん	help-wanted column
(目を)通す	(めを)とおす	glance over
理由	りゆう	reason
第二	だいに	second
大都会	だいとかい	large city
運転手	うんてんしゅ	driver
仕事	しごと	work
運送(する)	うんそう(する)	transportation
八丁堀	はっちょうぼり	Hatchobori (downtown Tokyo)
働く	はたらく	work
縁	えん	fate
早速	さっそく	right away
掃く	はく	sweep
捨てる	すてる	throw away
運命	うんめい	fate, destiny
感じる	かんじる	feel
面接(する)	めんせつ(する)	interview
場所	ばしょ	place
旭区	あさひく	Asahi Ward
京阪	けいはん	Keihan Railway

森小路	もりしょうじ	Morishoji Station
苦勞人	くろうにん	man of the world
雇う	やとう	hire
明日	あす	tomorrow
住む	すむ	live
下宿(する)	げしゆく(する)	lodging
甘える	あまえる	take advantage of
過ぎる	すぎる	excess
辞退(する)	じたい(する)	decline
汚い	きたない	filthy
電話番	でんわばん	duty of answering the phone
条件	じょうけん	condition
車庫	しゃこ	garage
部屋	へや	room
家賃	やちん	rent
好意	こうい	good will, kindness
稼業	かぎょう	profession
結局	けっきょく	in the end
助ける	たすける	help, save
我儘	わがまま	selfishness

---

© Norio Ota 2005